

第 161 期

年 次 報 告 書

2021年4月1日～2022年3月31日

RINKO

証券コード：9355

株式会社 リンコー コーポレーション



リンコーグループ経営理念



目次

リンコーグループ経営理念／目次	1	トピックスⅠ	9
株主の皆様へ	2	トピックスⅡ	10
当期の概況／当期連結業績ハイライト	3	株式の状況	11
業績の推移(連結)／次期の見通し(連結)	4	会社の概要	12
各事業の概況	5	ホームページのご紹介	13
連結財務諸表	7	株式についてのご案内	14

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

株式会社リンコーコーポレーションの「第161期年次報告書」(2021年4月1日～2022年3月31日)をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

2021年度(第161期)は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、世界的なサプライチェーンの混乱が生じ、先行き不透明な状況でしたが、主力である運輸部門では、貨物取扱量が増加し、当社企業グループ全体の収益は前期より改善いたしました。ホテル事業部門では、一部回復が見られたものの新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続きました。

今年度は、連結子会社2社の統合による新会社の設立により、当社企業グループの連携をさらに強固なものとし、主力部門を盛り立てていく所存でございます。

今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



2022年6月吉日

代表取締役社長

本間 常悌

当期の概況

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、世界的なサプライチェーンの混乱、一部部材の供給不足や原材料価格の上昇が経済活動の足枷となりましたが、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んだ結果、全体的には個人消費、企業の設備投資が回復し、先行き不透明感が残るものの日本経済は回復基調で推移いたしました。

このような状況の下、ホテル事業部門では、一部回復が見られたものの新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続きましたが、主力である運輸部門では、貨物取扱量が増加し、当社グループ全体の収益は前期より改善いたしました。

この結果、当期の当社企業グループの売上高は、126億9千4百万円、営業利益は1億2千4百万円（前期は5億2千5百万円の営業損失）、経常利益は3億7千6百万円（前期は3億8百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益は4億5千5百万円（前期は15億6千5百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

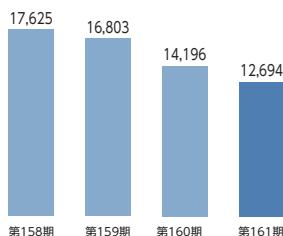
当期連結業績ハイライト



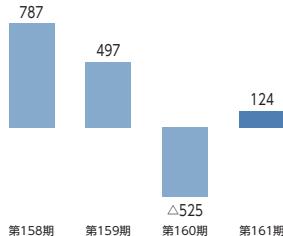
(注) 当期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。これに伴い、当期における売上高は、前期と比較して大きく減少しております。そのため、当期における経営成績に関する説明は、売上高については前期と比較しての増減額及び前期比(%)を記載せずに説明しております。

業績の推移(連結)

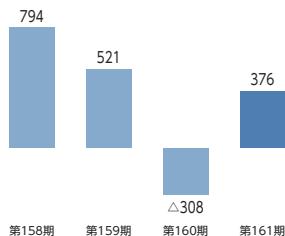
売上高 126億9千4百万円
(単位:百万円)



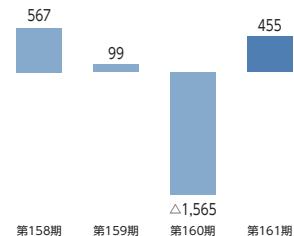
営業利益 1億2千4百万円
(単位:百万円)



経常利益 3億7千6百万円
(単位:百万円)



親会社株主に帰属する
当期純利益 4億5千5百万円
(単位:百万円)



次期の見通し(連結)

新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に弱まると見込まれますが、資材・エネルギー価格の高騰、海上コンテナ不足による物流コストの高止まり、ロシア・ウクライナ情勢等が、貨物の動向に影響を及ぼすことが懸念されます。

このような状況の中、運輸部門の売上高は前期並みを予想するものの、経費面で海上コンテナ運賃や燃料費の高騰等によるコストの増加を見込んでおります。また、ホテル事業部門では、各種企画・キャンペーン等、収益回復に向けた取組みを継続してまいりますが、コロナ禍前の利用水準に戻るには時間を要し、更に食材等の原材料費や燃料費等の高騰により、引き続き厳しい状況が続くと見込んでおります。

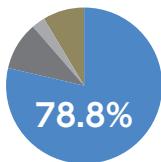
これらを踏まえ、次期の当社企業グループの通期連結業績予想は、増収減益の見通しであります。

なお、当社では政策保有株式の縮減に取り組んでおり、特別利益として投資有価証券売却益を見込んでおります。

2023年3月期の連結業績予想

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
128億円	6千万円	1億円	3億円

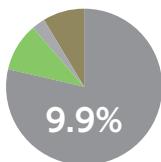
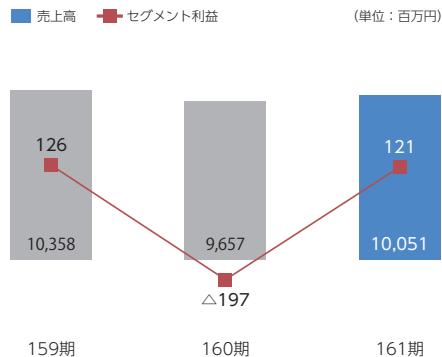
各事業の概況



運 輸 部 門

売上高 10,051百万円
セグメント利益 121百万円

当社運輸部門と運輸系子会社を合わせた同部門の当期の貨物取扱数量は、前期比8.3%増加の559万7千トンとなりました。そのうち一般貨物については、前期においてコロナ禍の影響を受け需要が低下していた主要貨物である素材原料の一部の荷動きが回復したこと等により前期比で13.5%増加し、コンテナ貨物も前期比で5.4%増加しました。この結果、同部門の売上高は100億5千1百万円となりました。また、経費面においては外注費の抑制と労務コスト削減を中心に取組んだ結果、1億2千1百万円のセグメント利益（前期は1億9千7百万円の損失）となりました。

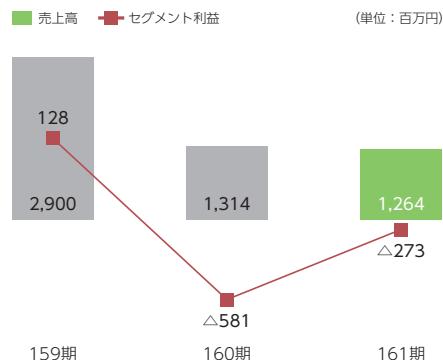


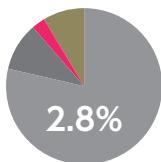
ホ テ ル 事 業 部 門

売上高 1,264百万円
セグメント利益 △273百万円

宿泊客については前期に比べて増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いた結果、同部門の売上高は12億6千4百万円、セグメント損失は2億7千3百万円（前期は5億8千1百万円の損失）となりました。

なお、前期においてホテル事業部門に属しておりました株式会社ホテル大佐渡につきましては、同社株式の譲渡に伴い、当期の期首より連結から除外しております。

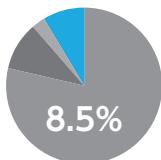
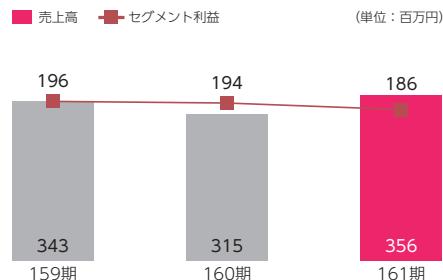




不動産部門

売上高 **356百万円** セグメント利益 **186百万円**

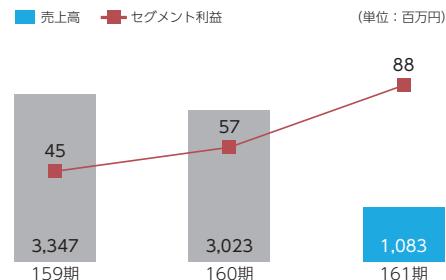
商品土地の販売が進んだ一方で、大口の不動産賃貸契約終了の影響もあり、売上高は3億5千6百万円、セグメント利益は1億8千6百万円（前期比3.8%の減益）となりました。



その他

売上高 **1,083百万円** セグメント利益 **88百万円**

建設機械等の整備・販売事業、木材リサイクル・産業廃棄物の処理業、保険代理店業、商品販売事業に係る部門は、各々堅調に推移し、これら部門を合わせた売上高は10億8千3百万円、セグメント利益は8千8百万円（前期比53.9%の増益）となりました。



- 円グラフはセグメント別売上高の割合を示すものです。
- セグメント売上高は、各セグメント間の内部売上高または振替高を含み、それらの合計は6千1百万円であります。各セグメント間の取引は、市場実勢価格に基づいており、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。また、当期より、報告セグメントの区分を変更しており、前期比較については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

連結財務諸表

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第161期 2022年3月31日現在	第160期 2021年3月31日現在	前期比 (%)	増減
(資産の部)				
流動資産	4,203	4,123	101.9%	80
固定資産	32,483	32,602	99.6%	△ 119
有形固定資産	28,820	29,469	97.8%	△ 649
無形固定資産	129	165	78.2%	△ 36
投資その他の資産	3,533	2,967	119.1%	566
資産合計	36,686	36,726	99.9%	△ 40
(負債の部)				
流動負債	7,840	7,830	100.1%	10
固定負債	13,622	15,140	90.0%	△ 1,518
負債合計	21,463	22,970	93.4%	△ 1,507
(純資産の部)				
株主資本	4,831	3,879	124.5%	952
資本金	1,950	1,950	100.0%	0
資本剰余金	809	809	100.0%	0
利益剰余金	2,079	1,127	184.5%	952
自己株式	△ 7	△ 7	100.0%	0
その他の包括利益累計額	10,391	9,875	105.2%	516
純資産合計	15,223	13,755	110.7%	1,468
負債純資産合計	36,686	36,726	99.9%	△ 40

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第161期	第160期
	2021年4月1日から 2022年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで
売上高	12,694	14,196
売上原価	11,373	13,434
売上総利益	1,321	761
販売費及び一般管理費	1,196	1,287
営業利益 (△は損失)	124	△ 525
営業外収益	388	303
営業外費用	136	86
経常利益 (△は損失)	376	△ 308
特別利益	100	13
特別損失	24	919
税金等調整前当期純利益 (△は損失)	452	△ 1,213
法人税、住民税及び事業税	55	61
法人税等調整額	△58	290
当期純利益 (△は損失)	455	△ 1,565
親会社株主に帰属する当期純利益 (△は損失)	455	△ 1,565

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

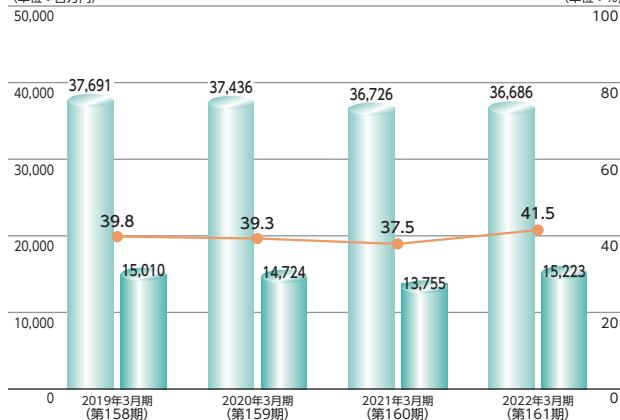
科 目	第161期	第160期	増減
	2021年4月1日から 2022年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	943	685	258
投資活動によるキャッシュ・フロー	70	△ 233	303
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,230	△ 280	△ 950
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△216	171	△ 387
現金及び現金同等物の期首残高	610	438	172
現金及び現金同等物の期末残高	393	610	△ 217

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

● 総資産 ● 純資産 ● 自己資本比率

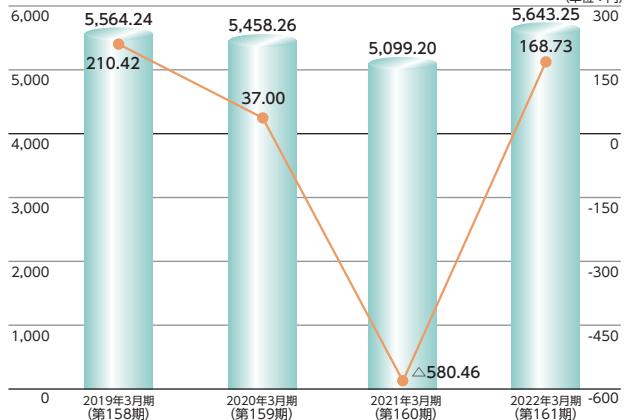
(単位：百万円)

(単位：%)



● 1株当たり純資産 ● 1株当たり当期純利益(△は損失)

(単位：円)



● 連結子会社を再編しました

2022年2月1日に、当社は連結子会社の「株式会社ワイ・エス・トレーディング」を吸収合併いたしました。京浜港に於ける高品質な物流サービスを提供すべく「東京支社 営業部 横浜営業所」として新たなスタートを切りました。

さらに、2022年4月1日に、当社の連結子会社である「丸肥運送倉庫株式会社」と「新光港運株式会社」が合併し、「リンコー港運倉庫株式会社」に生まれ変わりました。それぞれの強みを活かし、さらなるシナジー効果の創出が期待できる体制となりました。

■ リンコー港運倉庫株式会社

所在地 新潟市北区島見町字芝田2434-48

従業員数 87名（2022年4月1日現在）

主な事業内容 ・ 貨物自動車運送事業及び貨物運送取扱事業 ・ 倉庫業 ・ 港湾運送事業 ・ 付帯事業 ・ 海運代理店業



リンコー港運倉庫株式会社



●神前式が人気のANAクラウンプラザホテル新潟

新潟駅から徒歩10分、新潟市中心部の「万代地区」に位置しながらも閑静な雰囲気シティホテル、ANAクラウンプラザホテル新潟。

ウェディングでは複数の挙式会場があり、白を基調としたシックなチャペル、大きな窓からの陽光のあふれるロビーチャペル、厳かな雰囲気が魅力の神殿から、ご希望に合わせてお選びいただくことができます。

近年では神殿での挙式、「和婚」が特に人気で、ホテル1階の「割烹 萬代」や、提携のある「新潟総鎮守 白山神社」での和装撮影もおすすりめです。

披露宴ではお二人の好みや人数に合わせて選べる多彩な会場で、シェフが腕を振るう美味の数々をご用意し、ホテルならではの美食とホスピタリティーで、特別な一日を彩ります。

経験豊富なブライダルプランナーがお二人のご希望を伺います。なんでもご相談いただける、各種ご相談会も毎週開催しております。お気軽にお越しくださいませ。

また、株主の皆様への特典といたしまして、ご本人・ご友人・ご親戚のご婚礼をANAクラウンプラザホテル新潟にご紹介していただいた場合、新郎新婦様にはお料理のグレードアップやウェディングケーキのプレゼントなど選べる特典を、ご紹介者様には実施人数に応じたホテルギフト券を進呈いたします。

ゲストに感動と至福のおもてなしを贈る結婚式は、ANAクラウンプラザホテル新潟にぜひお任せください。

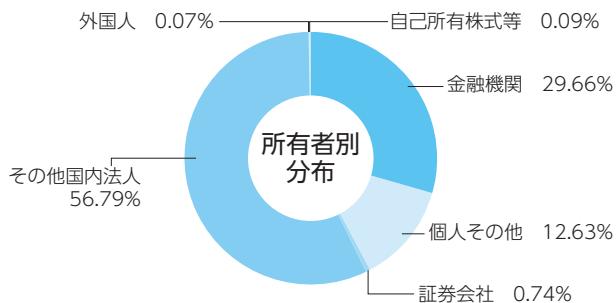


株式の状況

株式の状況

(2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	9,600千株
発行済株式の総数	2,700千株
株主数	770名



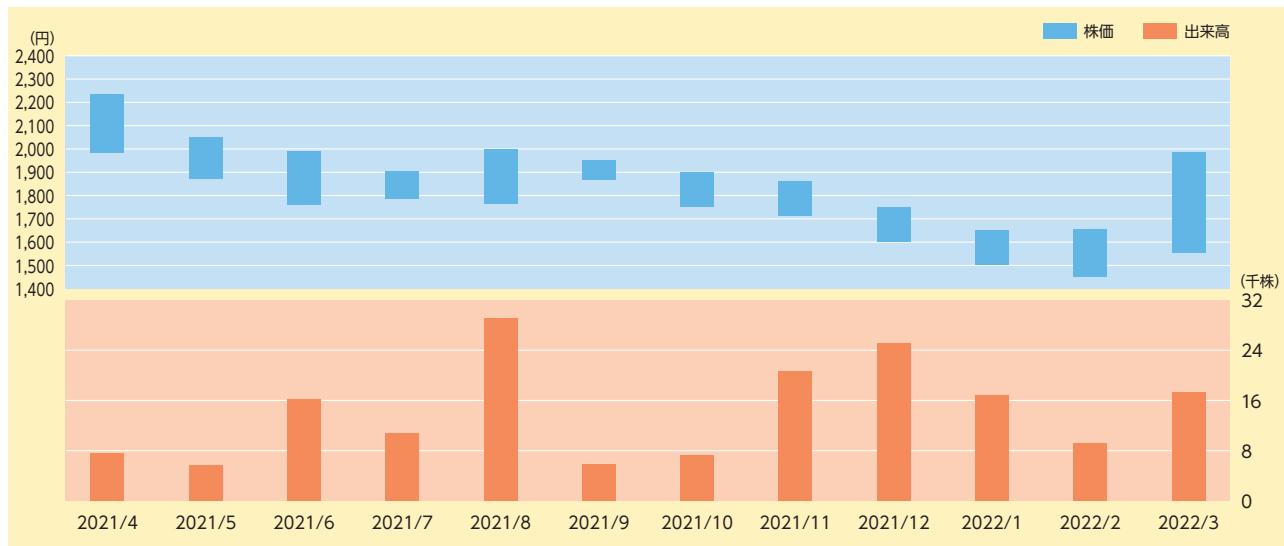
大株主

(2022年3月31日現在)

株主名	持株数 (株)	出資比率 (%)
川崎汽船株式会社	653,900	24.2
三井住友海上火災保険株式会社	137,500	5.1
株式会社みずほ銀行	134,600	5.0
みずほ信託銀行株式会社	134,600	5.0
株式会社第四北越銀行	134,500	5.0
公益財団法人福田育英会	120,600	4.5
住友生命保険相互会社	94,500	3.5
学校法人国際総合学園	86,400	3.2
日本海曳船株式会社	71,700	2.7
リンコーコーポレーション取引先持株会	67,700	2.5

(注) 出資比率は自己株式 (2,440株) を控除して計算しております。

株価、出来高の推移 (2021年4月~2022年3月)



会社の概要

■ 会社概要

(2022年3月31日現在)

商号 株式会社リンコーコーポレーション

資本金 19億5千万円

創立 明治38年11月（西暦1905年）

従業員数 354名

事業の内容

1. 港湾運送事業
2. 通関業
3. 貨物自動車運送事業
4. 貨物利用運送事業
5. 倉庫業
6. 船舶碇繋場業
7. 海上運送事業
8. 航空運送代理店業
9. 不動産の所有、売買、貸借、仲介および管理
10. 各種自動車・建設機械・機械式駐車設備・昇降機・天井クレーン・コンプレッサーなど各種機械および同部品・付属品の販売ならびに賃貸、自動車分解整備事業
11. 産業廃棄物処理業および産業廃棄物、一般廃棄物の再生処理業
12. 損害保険・自動車損害賠償保障法に基づく保険の代理業
13. ホテル経営
14. 物品の売買およびリース業
15. 前各号に附帯関連する事業

■ 事業所の所在地

(2022年4月1日現在)

本社 新潟市中央区万代五丁目11番30号

☎ (025) 245-4113

東京支社 東京都港区芝公園一丁目8番21号 芝公園リッジビル4階

☎ (03) 3438-1433

東港支社 新潟県北蒲原郡聖籠町東港三丁目170番地16

☎ (025) 256-4120

東港コンテナターミナル事務所 新潟市北区横土居3228番地2 新潟東港コンテナターミナル管理棟3階

☎ (025) 388-1011

臨港支店 新潟市東区臨港町二丁目4914番地380

☎ (025) 274-5181

直江津支店 新潟県上越市港町一丁目9番1号 佐渡汽船ターミナルビル3階

☎ (025) 543-4207

横浜営業所 横浜市中区本牧ふ頭1番地

☎ (045) 621-6661

海外連絡事務所 中国・上海

■ 役員

(2022年6月24日現在)

取締役会長 南波 秀 憲 監査役 奥村 一郎

代表取締役社長執行役員 本間 常 悌 監査役 河部 香

取締役専務執行役員 坂 牧 克 記 監査役 伊藤 敬 幹

取締役専務執行役員 前山 英 人 専務執行役員 鶴 巻 雅 人

取締役専務執行役員 樋口 幹 夫 常務執行役員 廣 井 敏 裕

取締役 園部 恭 也 常務執行役員 信田 拓 志

取締役 島田 文 男 常務執行役員 鷲 尾 峰 之

取締役 桐生 和 男 執行役員 須田 裕 之

常任監査役 中野 尚 栄 執行役員 鍋 嶋 芳 樹

※取締役 園部恭也氏、島田文男氏及び桐生和男氏は社外取締役であります。監査役 奥村一郎氏、河部香氏及び伊藤敬幹氏は社外監査役であります。

■ 連結子会社 (2022年6月24日現在)

●株式会社ホテル新潟

〒950-8531 新潟市中央区万代5丁目11番20号 ☎ (025) 245-3331 FAX (025) 243-0493 主な事業内容 ホテル・結婚式場・レストランの経営

●リンコー運輸株式会社

〒950-0031 新潟市東区船江町1丁目6番33号 ☎ (025) 274-7541 FAX (025) 271-6109 主な事業内容 貨物自動車運送事業

●リンコー港運倉庫株式会社

〒950-3102 新潟市北区島見町字芝田2434-48 ☎ (025) 255-3535 FAX (025) 255-3540 主な事業内容 港湾運送事業、貨物自動車運送事業、倉庫業

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、本誌で掲載した内容を更に詳しく紹介しており、様々な情報をご覧いただけます。ぜひ、ご利用ください。

トップページ

<https://www.rinko.co.jp/>



事業案内

<https://www.rinko.co.jp/business/>



IRライブラリ

<https://www.rinko.co.jp/kessan/ir-library/>



株式についてのご案内

定時株主総会	毎年6月（基準日3月31日）
単元株式数	100株
公告掲載方法	当社のホームページ (https://www.rinko.co.jp/kessan/settlement) に掲載します。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、新聞（新潟日報）に掲載します。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ信託銀行 本店および全国各支店（トラストラウンジではお取扱できません ので、ご了承ください）
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店（トラストラウンジではお取扱できませんので、ご了承ください） みずほ銀行 本店および全国各支店	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	<ul style="list-style-type: none"> ・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主さまは、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。 	

RINKO

株式会社 リンコー コーポレーション

